

# 学校改善に直接結びつく学校評価の推進

札幌市立栄南中学校

## I はじめに

### 学校改善に結びつく 学校評価の取組

#### 1 本校における学校評価のねらい

本校では、平成20年度より、生徒、保護者、職員による学校評価アンケートを実施し、学校評議員などで構成される学校関係者評価委員会の評価を受けてきている。生徒、保護者アンケートでは、直接聞いてみたいポイントに絞り込み、自由記述も書いていただけるよう十分なスペースをとり、職員用についてはすべての学校教育活動について細かい設問で、年度末反省にいかせるようなシートにした。

この学校評価が、全職員で本校の教育活動をよりよい方向へ導いていくためのベストコミュニケーションツールとなるように今後も改善していく必要があると考える。

#### 2 昨年度の学校評価を基にした改善点

本校では、昨年度の学校評価を受け、アンケートの結果が年度末反省とリンクしていない面の改善を図った。昨年度までは、年度末反省で校務運営の反省を行い、学校評価では学校経営全般についての反省と改善を扱っており、それらの関連性が薄いという課題があった。今年度はそれを一本化し、学校評価の結果を受け、校務も含めた反省、次年度への改善点の洗い出しができるスタイル・システムに変更した。

保護者アンケートについて、今年度の本校の取組に合った形に変更を加え、焦点を絞って意見を伺った。

また、本校は学校関係者評価を年度末に行っているが、学校関係者評価委員会の立ち上げ時期や学校評価委員の方々に適切な評価をいただくために、より深く学校に関わっていただくかについての検討が不十分であり、今後の課題である。

## II 本校の学校評価システム

### 自己評価システム

#### 1 自己評価の充実を図る組織体制

本校は、学校評価の基本的な部分の提案を教務が行い、特別委員会の教育課程検討委員会で検討、実施している。集計等の作業は教務で行い、その集計を基に各部、各学年、各教科で反省点を洗い出し、その結果を教育課程検討委員会で分析、改善の方法の確認を行っている。

#### 2 学校関係者評価の円滑な実施に向けた取組

本校では、学校評議員とPTA役員で学校関係者評価を実施している。PTA役員は多くの保護者とのつながりが深いことで、日常的な取組の評価をしていただける利点がある。さらに学校評議員の方々についても学校の教育実践を知っていただく手段についてさらに検討し、学校として取り組んでいかなければならないと考える。

### Ⅲ 学校評価の一年間の流れ

	自己評価			学校関係者評価
	学校（教職員）	生徒	保護者・地域	学校関係者評価委員会
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>○経営の重点・目標・視点の立案（学校長）</li> <li>○推進目標、年度計画立案（各部・各学年・教科）</li> <li>○学校公開・学級PTA・PTA総会</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>経営の重点・目標・視点の公表（HP・学校だより）</li> <li>学校公開（アンケート）</li> </ul>	学校公開（アンケート）
5	○土曜公開授業		土曜公開授業（アンケート）	土曜公開授業（アンケート）
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校評価の流れの確認</li> <li>○評価シートの検討・決定</li> </ul>	陸上競技大会（アンケート）	学校公開（アンケート）	学校公開（アンケート）
10		学校祭（アンケート）		
11	○自己評価実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>合唱コンクール（アンケート）</li> <li>評価シート配布・回収</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校公開（アンケート）</li> <li>学校評価の趣旨説明・評価シート配布・回収</li> </ul>	学校公開（アンケート）
12	○学校評価アンケート集計			
1	○評価結果の解析、改善策検討（各部、各学年、教科）		学校公開（アンケート）	学校公開（アンケート）
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○集約結果報告（学校長→評議員）</li> <li>○評価結果の解析、改善策の報告・説明</li> <li>○改善策・次年度の方針、重点検討（各部、各学年、教科）</li> </ul>		集約結果報告（HP・文書）	○学校関係者評価委員会
3	○次年度の方針、重点提示			

## IV 学校評価の方法

各評価の特性を  
いかした評価項  
目の設定

焦点を絞り、保護者  
の声が見えるアンケ  
ートの工夫

### 1 自己評価

本校では教職員も生徒・保護者アンケートとも「A：そう思う B：だいたいそう思う C：あまり思わない D：そう思わない」の4段階評価としている。各評価が全回答数の何パーセントを占めるかを算出し、AとBが占めるパーセンテージをプラスの傾向、CとDが占める割合をマイナスの傾向として扱った。このうち、マイナスの傾向が3割をこえる項目は、早急に取り組まなければならない点として扱い、問題点の洗い出しと改善策の検討を行った。

#### (1) 教職員アンケート

本校では、各行事ごとの反省アンケートと学校評価のアンケートの2本立てで評価を行っている。

行事反省アンケートは、「陸上競技大会」「学校祭」「合唱コンクール」の行事について行い、各行事の担当部で集約をし、職員会議で結果を提示し、次年度の指針を示した。

学校評価アンケートの項目は、学校長から年度当初に提示された教育方針と重点にあげられている「教育活動の充実・改善のための25の視点」を中心項目とした。教育活動全体について項目を加えて設け、52項目の設定をした。

#### (2) 生徒・保護者アンケート

保護者アンケートは、学校公開日の自由記述式アンケートと学校評価アンケートを実施している。学校公開日は、朝の会から、放課後の活動（部活動を含める）まで公開し、全ての学年・学級を自由に参観していただき、その感想や意見を自由に記述していただいている。

学校評価アンケートは、教科指導・生徒指導・いじめなど、直接ご意見を聞いてみたい点を中心に項目を選び、あまり幅広くなならないように留意した。

また、生徒アンケートは、保護者アンケートとほぼ同じ項目で設定し、両者の比較ができるようにした。

#### (3) 結果の集計と分析・自己評価書の作成

① 学校公開日の自由記述式アンケートは、励ましや感謝の内容がほとんどであり、早急に検討するものが今年度はなかったため、関係する部や教科に伝えることで終わっている。

② 学校評価アンケートは、教務部で集計し、教職員アンケート、生徒・保護者アンケートとも評価がマイナスの傾向（評価で「あまり思わない」「そう思わない」）の割合が高い項目を中心に各部・各学年・各教科で問題点を洗い出す分析とそれに対する改善策を検討し、教育課程検討委員会でその内容について話し合いを行った。その結果を基に自己評価書を教育課程検討委員会で作成していった。

### 2 学校関係者評価

#### (1) 学校関係者評価委員の構成と役割

本校の学校関係者評価委員は学校評議員とPTA役員で構成されている。各集計結果と自己評価書をもとに、意見をいただくように会議を進めた。

#### (2) 学校関係者評価を生かす取組

学校関係者評価は学校関係者評価書としてまとめた。学校評価を基に、各部・各学年・各教科で検討した改善点、次年度の方針の見直しをこの学校関係者評価書と照らし合わせ再検討を行った。

## V 評価結果の公表

### 公表方法の多様化と工夫

#### 1 公表の方法

- 本校では、生徒・保護者アンケートの集計結果を以下の方法で公表している。
- ・学校だよりに掲載し、保護者と校区内の町内会に配布。
  - ・本校のホームページに掲載。
  - ・学校評価の結果を受け、どのように改善を図ったのかについて新年度の学校説明会やPTA集会の中で説明。

#### 2 公表の効果

保護者アンケートでは、それぞれの家庭内という情報が少ない中で学校の状況を評価する機会が多いが、様々な視点や考え方で評価した意見を公表することにより、幅広い観点で学校を見ていただけるきっかけとなることが期待される。

## VI 成果と課題

#### 1 成果

- ① 今年度は、本校の反省の形態を改善することを中心に取り組み、反省の流れの整備をすることができた。特に学校評価と年度末反省が別々に行われていたことで両者がうまくリンクしていない面は、改善を図ることができた。
- ② 生徒・保護者アンケートでは、自由記述を全ての項目に置いたことで、パーセンテージだけでは見えてこない部分を分析することに役立った。頂いたご意見には厳しいものもあったが、本校の実情をよく知っていただいた上で建設的なご意見も多く、学校職員の励みにもなった。
- ③ 学校評価が、学校改善に向けた教職員の意識向上につながるようなコミュニケーションツールとして充分活用することができた。特に教職員評価で、本校の問題点が明らかになり、話合いのきっかけになった。

#### 2 課題

- ① 本校は、年に一度だけの学校評価を行っているが、中間反省を取り入れるかどうかについて、現在の反省形態を固めた上で他校の取組も参考にさせていただきながら検討していく必要があると考える。
- ② 学校関係者評価委員会の発足時期を早め、趣旨説明や学校評価シートの紹介、処理方法の確認を事前しておく必要がある。
- ③ 学校関係者評価委員の方には、学校の実情を理解していただく必要がある。特に学校評議員の方は、本校に来校していただく機会が少ないだけに、学校の様子をお伝えする手だてを講じていかなければならない。
- ④ 共働き家庭が多く、学校に来る機会が減少しているのに加え、子どもたちも親に対して話をしなくなってくる時期でもあり、学校の様子が伝わっていないことが今回の集計で浮き彫りになった。地域や保護者に対して、学校の取組や教師の思いを伝える手段をどのようにとっていくか、早急に取り組んでいかなければならない課題である。
- ⑤ 保護者アンケートは無記名で行っているが、自由記述に対して回答する場合のことを考え、記名もできるような配慮が必要であった。

- 【参 考 文 献】 ・「学校評価ガイドライン」改訂 文部科学省  
・「平成21年度 学校評価推進協議会 資料 (東京会場)」 文部科学省

# 平成21年度 学校評価シート(職員用)

名前

「そう思う」:A 「だいたいそう思う」:B 「あまり思わない」:C 「改善が必要」:D に ○をつけてください。

項目	観 点	4段階評価			
学ぶ力の育成のために	1 校内外の研修体制の充実が図られ、教科の指導力の向上、生徒の側に立った、質の高い授業を行っている。	A	B	C	D
	2 新学習指導要領の趣旨を踏まえ、教科の指導内容を厳選し、基礎基本の確実な定着を図っている。	A	B	C	D
	3 年間授業時数を、標準時数以上に確保するように努めている。	A	B	C	D
	4 適切な「評価・評定」が行われ、生徒保護者に十分周知され、学習意欲を高めるよう努力している。	A	B	C	D
	5 「総合的な学習の時間」のねらいを明確にし、内容の充実を図っている。	A	B	C	D
	6 学校行事のねらいが明確で、教育効果を上げる工夫がなされているとともに、新教育課程に向けた検討を進めている。	A	B	C	D
	7 「朝の読書」活動の定着と充実に取り組んでいる。	A	B	C	D
豊かな心の育成のために	8 「支持的風土のある集団」づくりへの取り組みと、地域保護者との連携を図っている。	A	B	C	D
	9 基本的な生活習慣の定着は、教師の共通理解のもと、保護者と連携を取りながら行っている。	A	B	C	D
	10 「あいさつ」が、常に明るく元気に交わされるように、教職員を含めて、取り組みを強化している。	A	B	C	D
	11 常に子どもの視線を持つとともに、「いじめ」を許さない環境作りに努めている。	A	B	C	D
	12 インターネットや携帯電話等のトラブル防止のため、啓蒙活動の強化を図っている。	A	B	C	D
	13 「道徳」の授業時数の確保を図るとともに、内容や形態の工夫を図っている。	A	B	C	D
健康な心身の育成のために	14 「不登校」の防止のため、トラブルや不安が小さい内に、積極的に関わっている。	A	B	C	D
	15 「不登校」の改善のため、スクールカウンセラーや外部機関との連携を積極的に図っている。	A	B	C	D
	16 部活動の教育的な意義を再確認し、教職員全体の協力体制の元に、指導の充実を図っている。	A	B	C	D
	17 「食育」の重要性を全教職員が理解し、計画的に取り組んでいる。	A	B	C	D
特別支援教育の充実のために	18 教育相談活動を重視し、生徒の「困り感」を的確に把握し、必要な支援を計画的に行っている。	A	B	C	D
	19 スクールカウンセラーをはじめ、外部機関などとの連携を強化している。	A	B	C	D
信頼される学校の創造のために	20 信頼される学校の創造のためのシステム(学校評議員制度、学校外部評価等)を充実させている。	A	B	C	D
	21 学校だより、学年だより等は、年間計画をもとに、必要な時期に必要な情報を発信している。	A	B	C	D
	22 工夫された、学校ホームページによる情報発信が行われている。	A	B	C	D
	23 地域の行事への参加、協力体制の整備に努め、地域と一体となって子供を育成している。	A	B	C	D
	24 情報の管理をより一層厳格におこない、情報流失事故の防止に努めている。	A	B	C	D
	25 教職員の資質向上に努め、保護者や地域から信頼される教師、学校を目指している。	A	B	C	D
教科指導	① 生徒の自主的、創造的な学習活動を工夫し、良さや可能性が発揮できるよう配慮している。	A	B	C	D
	② 指導目標や計画、評価計画は生徒の実態を踏まえ、教科内で十分話し合い作成している。	A	B	C	D
	③ 生徒の実態に即して、わかる喜びを味わわせ、意欲を育てる授業を展開している。	A	B	C	D
	④ 自然体験、社会体験、ものづくりなどの体験的な学習、問題解決学習を積極的に展開している。	A	B	C	D
	⑤ 学習効果を高めるため、教育機器、PC、視聴覚教材、教具の利用、開発に努めている。	A	B	C	D
	⑥ 選択の指導計画は、生徒の能力・適正、興味・関心に応じて多様な活動ができるよう工夫している。	A	B	C	D
	⑦ 適切な評価基準を設定し、評価・評定法について工夫・改善を行っている。	A	B	C	D
道徳指導	① 各教科、特別活動、総合的な学習との関連を図った指導計画を作成している。	A	B	C	D
	② 生徒の実態に応じて授業を組み立て、内面的な深まりを目指した多様な指導方法の工夫に努めている。	A	B	C	D
学級活動	① 学校の実態や生徒の発達段階に応じた指導計画を作成している。	A	B	C	D
	② 学級での当面する課題を話し合いで解決が図れるよう、適切な指導をしている。	A	B	C	D
生徒会活動	① 生徒会活動において、生徒の自治的な意識を高めるための適切な指導をしている。	A	B	C	D
	② 学校行事において、学校生活の充実、連帯感を高める指導をしている。	A	B	C	D
	③ 特別活動を通して育成する生徒の姿を全職員が共通理解して指導にあたっている。	A	B	C	D
進路指導	① 3年間を見通して計画的、継続的に実施している。	A	B	C	D
	② 資料の収集と整理・活用の体制を整えている。	A	B	C	D

平成21年度 学校評価（保護者用アンケート）

このアンケートは、子どもたちが楽しく生き生きとした学校生活を送れるよう、また、本校教育の更なる充実・発展に向けて、保護者の皆様からご意見をお伺いし、学校改善に役立てていくための資料とするものです。趣旨をご理解いただき、建設的なご意見をお聞かせいただくと幸いです。

（ 1 . 2 . 3 ）年      男子      女子      …「学年」と「男女」に○を書いてください。

「あてはまる(そう思う)」:A    「ややあてはまる(大体そう思う)」:B    「あまりあてはまらない(あまり思わない)」:C    「あてはまらない(そう思わない)」:D  
 あてはまるところに○をお書き下さい。また、「C」、「D」評価の項目はなるべくコメント等をお書きくだされば幸いです。

	観 点	4段階評価	補足等ありましたら、お書き下さい。
	お子様から学校の状況をどのように聞いていますか。		
1	お子様は、楽しそうに学校に通っている。	A    B    C    D	
2	お子様は、授業がわかり、基礎学力が身についている。	A    B    C    D	
3	お子様は、学校のことをよく話す。	A    B    C    D	
4	お子様は、読書が楽しいと言っている。	A    B    C    D	
	保護者から見ての本校の状況はどうですか。		
5	学校は、教育方針や重点を保護者・地域の方にわかりやすく伝えている。	A    B    C    D	
6	学校は、生命を大切にする心や、社会のルールを守る態度を教えている。	A    B    C    D	
7	学校は、いじめのない学級・学校づくりに取り組んでいる。	A    B    C    D	
8	適切なキャリア教育や十分な進路指導が行われている。	A    B    C    D	
9	わかりやすい授業が工夫され、学力の定着がはかられている。	A    B    C    D	
10	服装や言葉遣い等、適切な指導がされている。	A    B    C    D	
11	学校生活の様子が、お便りやホームページでよく知ることができる。	A    B    C    D	
その他・上記項目で書ききれなかったこと等ありましたら、以下にお書き下さい。			
ご協力、どうもありがとうございました。今後の学校運営に活かしていきたいと思ひます。			